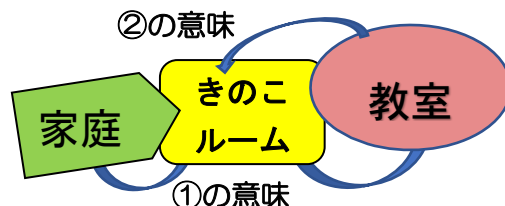


きのこルームについて

「安心できる場」で蓄えた「自信」が復帰の原動力になります。

より多くの経験と人との関わり（本人の意思の尊重を!!）

「きのこルームにおける指導」2つの意味



- ① 不登校（不登校傾向）から学校（教室）復帰へのステップとして
- ② 不登校にならないための一時避難として

「きのこルーム」2つの役割

存在的役割 ・ ・ 自分の存在が、他の人達から受け入れられているとすることができる。

実行的役割 ・ ・ 学習や活動を通して、生徒が達成感や意欲などを感じることができる。

きのこルーム利用生徒への6つの視点

つながり・連携

当該生徒とのつながり

1 直接的コミュニケーション

- ・ 適性を知る等、自己理解を深める指導を行う
- ・ 個別に気持ちを聴く時間を確保する

学習・教科の先生とのつながり

2 学習保障

- ・ 学習時間を確保する
- ・ 個別の学習を通して、学習の遅れを取り戻せるようにする

家庭・保護者とのつながり

3 家庭への働きかけ

- ・ 家庭訪問を行う
- ・ 家庭と連絡を取り、学校の様子を伝える
- ・ 必要に応じて SC を紹介し情報共有する

学級・学年団とのつながり

4 教室とのつながり

- ・ 教室にいる生徒と休み時間等に交流する
- ・ 教室に復帰しやすい仕掛けを工夫する（当該生徒の現状を把握しながら…）

関係機関とのつながり

情報・支援の連携

5 関係機関とのつながり

- ・ 保護者とともに生徒を支える体制を作る
- ・ 各種連携機関を紹介し、情報交換と支援＆連携を図る
 - 大山塾 ○子育て支援課
 - 青少年育成センター ○児童相談所 等

情報共有し支援の連携

6 校内での情報共有・支援の連携

- ・ 校内の連携体制を充実させる
- ・ 生徒指導委員会（毎週火曜日）
- ・ 不登校対策委員会（月 1 回金曜日）